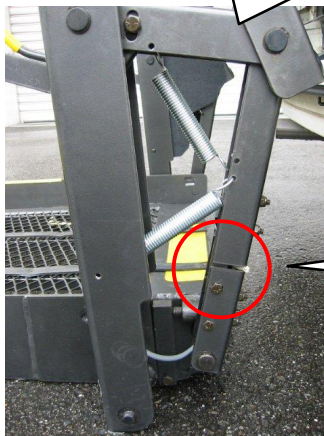
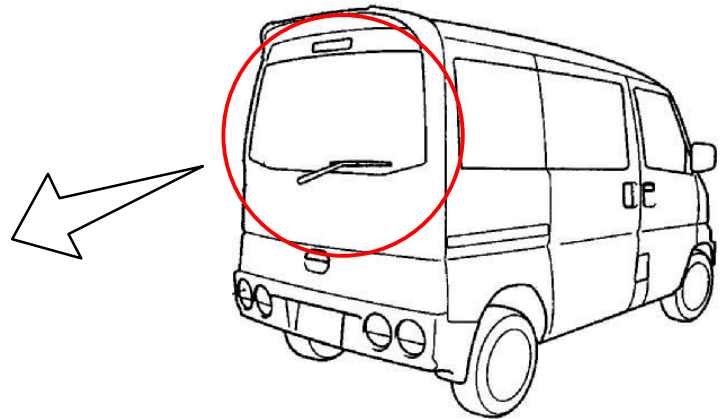


改善箇所説明図



スプリングが折損した
状態



重量検知
スイッチ端子部

スプリング

不具合発生箇所



作動スイッチ

テールゲートリフト付車に改造した福祉車両において、リフト使用時に車いすの乗車の有無を検知する重量検知スイッチの端子部が露出した構造となっている。そのため、リフト装置の緩衝スプリングのフック部が折損した場合、緩衝スプリングが当該スイッチの端子部に接触することがあり、最悪の場合、作動スイッチの操作をしないのにリフトが誤作動するおそれがある。

改善の内容

全車両、重量検知スイッチの端子部に絶縁材を貼付け、スプリング4本を新品と交換する。また、コーションラベルを貼付ける。

識別：リフト装置右側アーム下部にある、重量検知スイッチ上側の固定ボルト頭部に、白または黄色のペイントを塗布する。

注：図中の□内は交換部品を示す。